

第24回ビジネスレジスターに関するウィースバーデンググループ会合の概要

1 会合の名称・目的等：第24回ビジネスレジスターに関するウィースバーデンググループ会合

(24th Meeting of the Wiesbaden Group on Business Registers)

- ・ビジネスレジスターに関する各国の経験・情報を共有し、国際比較の向上に資することを目的として開催。
- ・国連のシティグループ（専門家グループ）会合の一つであり、1986年にカナダにおいて第1回会合が開催されて以来、2008年まではほぼ毎年、その後は隔年で開催。
- ・メンバーは、アメリカ、カナダ、フランス、オランダ、スウェーデン等欧米諸国を中心に日本を含め約20の国・機関で構成。

※第24回会合ウェブサイト http://www.statistik.at/web_en/about_us/events/wiesbaden_group_meeting_2014/index.html

2 開催期間：平成26年9月15日（月）～ 9月18日（木）

3 開催場所：ウィーン（オーストリア）

4 参加国等：42か国及び8国際機関（合計約100名） ※日本からは、総務省職員2名と菅法政大学教授が出席

5 テーマ：

- ・セッション1： 国別進捗報告 (Country Progress Reports)
- ・特別セッション：ユーログループレジスター (Special Session: EuroGroups Register)
- ・セッション2： 統計単位及びプロファイリング (Statistical Units and Profiling)
- ・セッション3： 国際的レベルにおける行政及び統計ビジネスレジスター：新しい発展、利用及びユニークIDのアイデア
(Administrative and Statistical Business Registers at international level: new developments, new uses and new ideas for unique IDs)
- ・セッション4： 回答者負担の管理 (Managing respondents' burden)
- ・セッション5： 統計ビジネスレジスターの基幹的役割 (Backbone role of the Statistical Business Register)
- ・セッション6： ビジネスレジスターフレームの方法論 (Business Registers Frame Methodology)
- ・セッション7： 統計ビジネスレジスターの品質測定－実務的経験 (Measurement of the Quality of Statistical Business Registers - Practical experience)
- ・セッション8： メンテナンスの方法及び方針 (Maintenance Methods and Policy)
- ・セッション9： 統計ビジネスレジスターからの公表と成果物 (Dissemination and Outputs from the Statistical Business Registers)
- ・セッション10： 統計ビジネスレジスターのための国際ガイドライン (International Guidelines for Statistical Business Registers)
- ・パネルディスカッション：統計ビジネスレジスターの課題と取組 (Round table discussion: Current challenges for statistical business registers and how to tackle them)

6 議事概要

○セッション1：国別進捗報告

各参加国等からビジネスレジスターに関する基礎情報、進捗状況、課題等について報告。

○特別セッション：ユーログループレジスター

(1) セッション概要

- ・ヨーロッパ地域の企業グループレジスター（ユーログループレジスター）の取組について紹介。

(2) 発表論文

- ①ユーログループレジスター：国家間ビジネスレジスターの構造と過程（The EuroGroups Register (EGR):The structure and processes concerning a supranational business register）（オランダ統計局）
- ②多国籍企業グループのユーログループレジスターデータ普及とデータ品質管理（Dissemination of EGR data on multinational enterprise groups and data quality management）（欧州連合統計局）

○セッション2：統計単位及びプロファイリング

(1) セッション概要

- ・統計単位の作成と維持管理に関する課題に関するベストプラクティスの共有及び議論。
- ・我が国の事業所母集団データベースについても、その概要、課題等について報告。

(2) 発表論文

- ①EUが提案する企業の定義及び国際的プロファイリングがイギリスのビジネスレジスターに与える影響（How will the proposed EU definition of the Enterprise and International Profiling affect the UK Business Register）（イギリス国家統計局）
- ②フランスにおけるプロファイリング：実施と結果（Profiling in France: Implementation and results）（フランス国立統計経済研究所（INSEE））
- ③ABN-TAU マッピング：複雑な企業構造の把握の改善及びオーストラリア統計局ビジネスレジスターの将来の位置付け（ABN-TAU Mapping: Improving our understanding of complex business structures and positioning the ABS Business Register for the future）（オーストラリア統計局）
- ④EGRにおける小規模企業グループの自動プロファイリング及び企業統計の作成（Automatic profiling of small groups in the EGR and compilation of national statistics based on enterprises）（欧州連合統計局）
- ⑤カナダ統計局におけるプロファイリングプログラムの設立と維持管理－利点と課題（Overview of the Establishment and Maintenance of the Profiling Program at Statistics Canada – Benefits and Challenges）（カナダ統計局）
- ⑥ヨルダンにおける統計単位とプロファイリング（Statistical Units and Profiling in Jordan）（ヨルダン統計局）
- ⑦モンゴルにおける統計単位のプロファイリング（Profiling of Statistical Units in Mongolia）（モンゴル国家統計局）
- ⑧メキシコの統計ビジネスレジスターにおけるプロファイリングに向けた進展（Progress towards profiling in the Mexican Statistical Business Register）（メキシコ国家統計地理院）

- ⑨日本におけるビジネスレジスター整備のためのプロファイリング手法—方法・課題 (The Profiling methods for the maintenance of the Japanese Business Register -The Measures, Problems and Challenges-) (総務省統計局)
- ⑩オランダ統計局における大企業グループの一貫性とプロファイリング (Consistency and profiling of large enterprise groups within Statistics Netherlands) (オランダ統計局)
- ⑪プロファイリング確認ツールとしての税務データの利用 (Using Tax Data as a Profile Verification Tool) (アメリカセンサス局)

○セッション3：国際的レベルにおける行政及び統計ビジネスレジスター：新しい発展、利用及びユニークIDのアイデア

(1) セッション概要

- ・国際的な観点からの現在のビジネスレジスターの技術動向、行政記録の利用等について議論。
- ・ユーロスタットの整備するEGR等の取組について紹介。

(2) 発表論文

- ①国家ビジネス登録システム (NBRS) : ベトナムのケーススタディ (National Business Registrations System (NBRS): A case study from Viet Nam) (国連工業開発機関 (UNIDO))
- ②法的単位のユニークな識別子：ヨーロッパ令2012/17を実行するユーログループレジスターの識別サービス (EGRIS) とビジネスレジスター接続システム (BRIS) (Unique identifiers for legal units: the EuroGroup Registers Identification Service (EGR IS) and the Business Registers Interconnection System (BRIS) implementing the European Directive 2012/17) (欧州委員会)
- ③法的実体の識別子—進展と展望 (Legal Entity Identifier (LEI) - review of progress and outlook) (欧州中央銀行)
- ④新しいユニークID(LEI)の扱い (How, as NSI, deal with this new unique global identifier called LEI?) (フランスINSEE)

○セッション4：回答者負担の管理

(1) セッション概要

- ・ビジネスレジスターにおける回答者負担の計測方法、統計調査における負担軽減方策等を議論。
- ・オーストリアの統計調査における回答時間把握の試み等について紹介。

(2) 発表論文

- ①ビジネスレジスターによる回答負担計測の支援 (Business register support for the response burden measurement) (オーストリア統計局)
- ②フランスのビジネス統計のための統計的負担の考慮 (Taking into account the statistical burden for the French business statistics) (フランスINSEE)

○セッション5：統計ビジネスレジスターの基幹的役割

(1) セッション概要

- ・統計単位間の整合性、統計ビジネスレジスターの統計作成への活用等について議論。
- ・Eurostat主導による、各国のレジスターの調和を図る取組についても紹介。

(2) 発表論文

- ①ベラルーシにおける統計作成の基礎としての統計レジスター (Statistical Register as a basis of statistical production in the Republic of Belarus) (ベラルーシ国家統計委員会)
- ②ボスニア・ヘルツェゴビナにおける統計ビジネスレジスター (Statistical Business Register in Bosnia and Herzegovina) (ボスニア・ヘルツェゴビナ統計庁)
- ③エジプトにおける統計ビジネスレジスターの役割を補う努力 (Efforts to compensate the role of SBR in Egypt) (エジプト公共動員・統計庁(CAPMAS))
- ④ミクロ経済基盤に関するビジネスレジスターの開発 (Development of the Business Register on the Micro-Economic Platform) (ニュージーランド統計局)
- ⑤一般統計ビジネスプロセスモデルの見地からの統計ビジネスレジスタープログラムの役割 (Role of statistical business register programs from the perspective of the Generic Statistical Business Process Model) (国連統計部)
- ⑥欧州統計システム (ESS) のレベルでの基幹的役割—ESBRsプロジェクト (Backbone role at the level of the European Statistical System (ESS) - The ESBRs project) (欧州連合統計局)
- ⑦欧州中央銀行システム (ESCB) と単一監督メカニズム (SSM) における統合データ収集及び報告—「団体と関連会社データベース」の役割 (Integrated data collection and reporting in the European System of Central Banks (ESCB) and the Single Supervisory Mechanism (SSM) - The role of the “Register of Institutions and Affiliates Database” (RIAD)) (欧州中央銀行)

○セッション6：ビジネスレジスターフレームの方法論

(1) セッション概要

- ・ビジネスレジスターから母集団情報を作成する際の様々な実践的取組について紹介・議論。
- ・フランスからは、欠測値の統計的処理、存続の確率をモデルによる推定について紹介。

(2) 発表論文

- ①歴史的・現在の年次売上高データ (Historical versus current annual turnover data) (スイス連邦統計局)
- ②フランスのビジネスレジスターSIRUSの統計利用 (The statistical uses of the French business register SIRUS) (フランスINSEE)
- ③グルジアにおける企業調査のためのビジネスレジスターと標本フレーム (Business register and sampling frame for business surveys in Georgia) (グルジア国家統計局)

○セッション7：統計ビジネスレジスターの品質測定—実務的経験

(1) セッション概要

- ・レジスターの品質に関する体系的な品質測定等について議論。
- ・各国からは、レジスターの品質を測定するための各種調査等の取組について紹介。

(2) 発表論文

- ①モンテネグロ統計局における統計ビジネスレジスターの品質—品質報告に伴う測定と実践の経験 (Quality of Statistical Business Register in Statistical Office of Montenegro - measurement and practice experience with quality reports) (モンテネグロ統計局)
- ②品質測定の方法と課題—フィンランドの経験 (Methods and Challenges of Quality Measurement - Finland' s Experiences) (フィンランド統計局)
- ③デンマークにおけるビジネスレジスター品質報告 (Quality report for Danish frozen version) (デンマーク統計局)

○セッション8：メンテナンスの方法及び方針

(1) セッション概要

- ・ビジネスレジスターのメンテナンスのための方法、課題等について議論。
- ・オランダからは、更新プロセスの自動化、大規模企業のプロファイリング等について紹介。

(2) 発表論文

- ①チュニジアのビジネスレジスター：管理と更新 (Tunisian Business Register: Management and update) (チュニジア統計局)
- ②オランダのビジネスレジスターの整備戦略 (Maintenance strategy of the Dutch SBR) (オランダ統計局)
- ③アルバニアの統計ビジネスレジスター：整備手順と方針 (Albania Statistical Business Register: maintenance procedures and policy) (アルバニア統計局)
- ④グルジアのビジネスレジスターの整備方法及び方針 (Maintenance Methods and Policy of Business Register in Georgia) (グルジア統計局)

○セッション9：統計ビジネスレジスターからの公表と成果物

(1) セッション概要

- ・ビジネスレジスターから作成する統計に関して議論。
- ・OECDからは、ビジネスデモグラフィ統計の各国における取組状況等について紹介。

(2) 発表論文

- ①構造的停滞—チュニジアにおける雇用創出に関する企業レベルでの証拠 (Structural Stagnation-Firm-level Evidence on Job Creation in Tunisia) (チュニジア国家統計局)
- ②メキシコにおける事業所の開業・廃業に関する研究 (Studies on the Demography of Establishments in Mexico) (メキシコ国家統計地理院)
- ③統計ビジネスレジスターとビジネスデモグラフィ統計 (Statistical Business Registers and Business Demography Statistics: Review of country practices) (OECD)
- ④ビッグデータ利用の機会と課題 (Opportunities and Challenges for using Big Data) (アメリカ労働統計局)

○セッション10：統計ビジネスレジスターのための国際ガイドライン

(1) セッション概要

- ・ビジネスレジスターの国際ガイドライン草案の内容及び今後の予定について紹介。
- ・ガイドライン案は、2015年6月に開催される欧州統計家会議（CES）の会合に提出される予定。

(2) セッション概要

- ①統計ビジネスレジスターの国際ガイドライン：現状及び今後のスケジュール（オーストリア）
- ②統計ビジネスレジスターのガイドライン案に関する調査について（国連欧州経済委員会）

○パネルディスカッション：統計ビジネスレジスターの課題と取組

- ・パネリストとして、日本を含む5名（アメリカ、オランダ、日本、ロシア、エジプト）が指名。
- ・各国におけるビジネスレジスターが抱える課題と取組について議論。

7 その他

運営グループ会合において、次回第25回会合の日本開催が決定（2016年11月ごろを予定。）。